



## ▼ この危機を乗り越えるために ▼

校長 阿南 孝也

「5千人にパンを分ける奇跡」は、イエスのご生涯を記した四福音書すべてが伝える奇跡物語です。

イエスは言われた。「あなたがたが彼らに食べる物を与えなさい。」弟子たちは言った。「ここにはパン五つと魚二匹しかありません。」イエスは、「それをここに持って来なさい」と言い、群衆には草の上に座するようにお命じになった。そして、五つのパンと二匹の魚を取り、天を仰いで賛美の祈りを唱え、パンを裂いて弟子たちにお渡しになった。弟子たちはそのパンを群衆に与えた。すべての人が食べて満腹した。

(マタイによる福音書14章16～20節)

「賛美の祈りを唱えて、パンを裂く」行為は、「最後の晩餐」の場面と重なります。この奇跡には2通りの解釈があるのです。①イエスの力でパンが増量された、②群衆が手持ちのパンを自主的に差し出した、の2説です。(番外:とつても大きなパンだった説)

私は①の支持者でした。②は、あまりにも神の力を矮小化していると感じるからです。しかし、コロナの世界を体験する中で、「人々が差し出した」説も捨てがたくなり、今は「①+②だったのではないか」と思うようになりました。神は、私たちの思いを飛び越えて魔法で解決するのではなく、一人ひとりが神からいただいている能力や持ち物を出し合い、分かち合うことを通して、難局を乗り越えることを望んでおられるに違いないと気づかされたからです。

人類が直面する深刻な危機打開のために、実に多くの人々が様々な能力を発揮し、立ち上がってくれています。ワクチンや治療薬の開発に全身全霊を傾けくださる科学者たちがいます。神が彼らの精神を照らし、ウイルスに打ち勝つ方法を見つけ出すことができますように。医療関係の方々、自らの命を危険な状態に置くことを厭わずに、人命救助のために懸命に働いてくださっています。彼らを支え、健康と力をお与えください。国々の責任者のために祈ります。彼らが弱い立場に立たされた人々を助け、将来を見据えて、必要な解決策をとることができますように。私たちが、正義と愛と連帯という抗体を見いだして、この危機を乗り越え、新たなよりよい世界を築くことができますように。

私たちの計算では「5千人に5つのパン」では焼け石に水の状態です。でも神の計算は違うのです。神は「それを使おう」と言ってくださるのです。そして私たちが小さな力を差し出すとき、神の大きな力が働いて困難を克服することができる、私はそう信じています。

—前期中間考査を終えて—

休校、オンライン学習、登校しての授業と、かつてない状況を経ての定期考査でした。困難な中において、洛星の生徒たちが勉学に励んでくれたことを嬉しく思っています。定期考査は、結果が出た後の対応が大切です。各自の生活を振り返り、どこをどのように改善すればよいのか、具体的に考えてほしいと思います。点数にだけ目を向けるのではなく、学校生活、家庭生活全体に目を向けて、反省の機会として生かしてくれることを期待しています。